

お客様へ

工事店様へ

この度はスマートシーリングライトをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
「取扱説明書」をよくご覧のうえ、正しく安全にご使用ください。  
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

この説明書は工事終了後、この器具をご使用になるお客様にお渡しください。

# 品番 ALA-1521 EWF

## 【安全上のご注意】必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

◆お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



**注意**

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

## 警告

### ■取付面

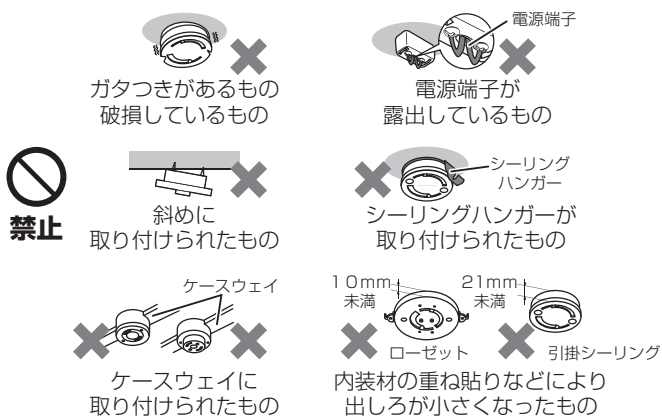
- 次のような場所には取り付けないでください。  
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



◎この器具は水平天井専用です。

### ■配線器具

- 次のような配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けないでください。  
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



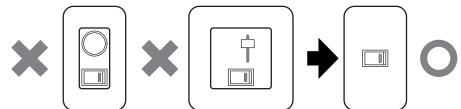
◎販売店、工事店に交換を依頼してください。  
(工事には資格が必要です)

### ■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換してください。  
火災のおそれがあります。



必ず守る



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。  
(工事には資格が必要です)

### ■その他

- 交流100ボルトで使用してください。  
過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。  
異常状態が収まったことを確認し、お客様相談室にご相談ください。



必ず守る

- アダプタは確実に取り付けてください。  
落下してけがのおそれがあります。
- 本体は確実に取り付けてください。  
破損して感電のおそれがあります。
- 本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付けてください。  
破損して感電のおそれがあります。



分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしないでください。  
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

# ⚠ 注意

●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

●カバーなどが破損した場合、けがの原因になることがありますので、破損部分に直接手や肌などを触れないでください。

◎破損した状態のまま使用すると感電、けがの原因になることがあります。販売店に点検、部品の交換、修理を依頼してください。



必ず守る



接触禁止

●点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないでください。

やけどの原因となることがあります。

◎お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。



水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。

火災の原因となることがあります。

◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●LEDを直視しないでください。

目の痛みの原因となることがあります。



必ず守る

●付属の梱包材は取り除いて使用してください。

そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

●この製品は5℃～35℃の範囲内で使用してください。

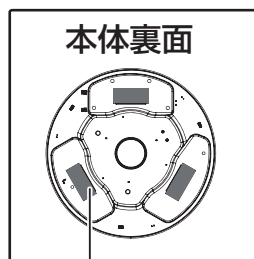
火災、感電の原因となることがあります。

●取付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるように注意してください。

転倒・落下してケガをするおそれがあります。

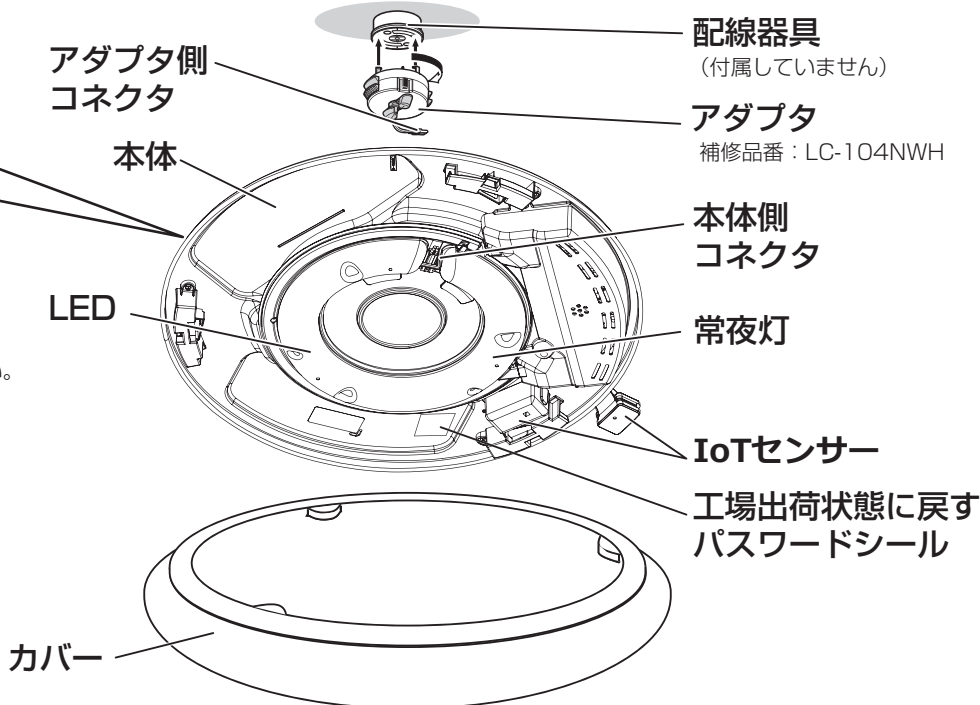
## 各部のなまえと付属部品

取付ける前にまず付属部品をご確認ください



黒スポンジ

※本体裏面に3カ所ついている黒スポンジは取らないでください。(本体回転防止のため必要です)



配線器具  
(付属していません)

アダプタ  
補修品番：LC-104NWH

本体側  
コネクタ

常夜灯

IoTセンサー

工場出荷状態に戻す  
パスワードシール

カバー

## リモコン付属部品

単4形  
乾電池  
2個



●リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短い場合があります。

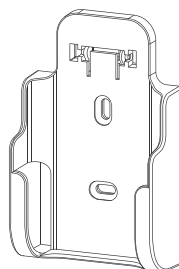
リモコン

補修品番：TLR-004



※リモコン前面の保護シートは取りはずしてからご使用ください。

リモコン  
ケース



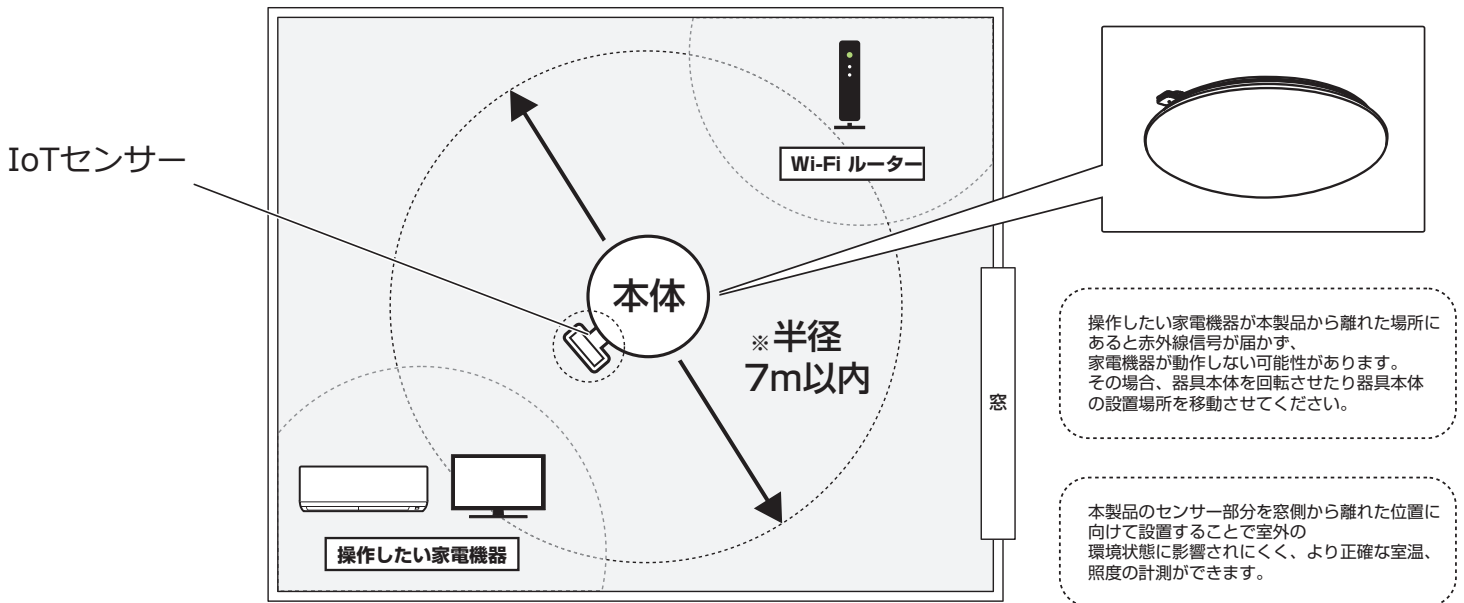
木ネジ  
2個



## IoTセンサーの位置を確認する

IoTセンサーの位置を窓から離して、できるだけエアコン家電に向けて取付けてください。

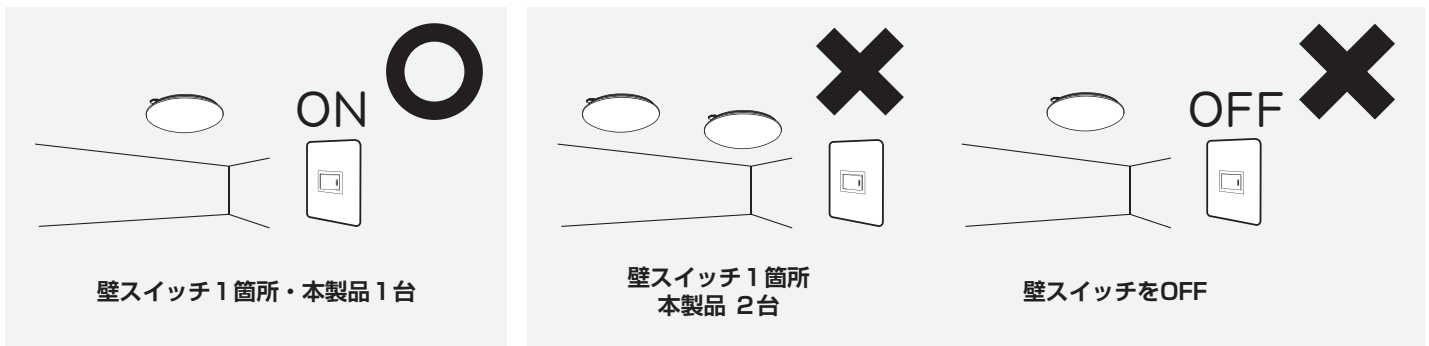
### 本体設置例



※設置環境によっては7mに満たない場合があります。

## IoTセンサー付き器具を複数設置する場合の注意点

本製品は、壁スイッチのある場所で使用することができます。  
壁スイッチのない場所、また壁スイッチを切った状態では使用できません。



壁スイッチが1つの場所に複数台の本製品を設置すると、器具が正常に動作しない恐れがあります。  
必ず壁スイッチのある場所1箇所につき本製品を1台のみ設置を行ってください。

## 1 天井についている配線器具を確認する。

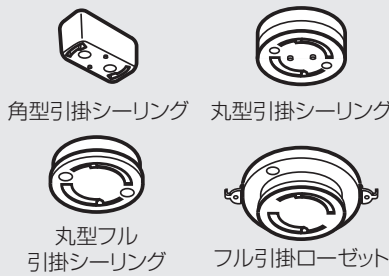
※壁スイッチと併用をおすすめします。

天井に右図のような配線器具が  
付いている場合、取り付けできます。

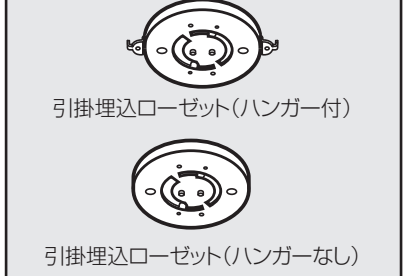
❗ 右記以外の配線器具の場合、配線器具が設置  
されていない場合、取り付けできません。

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。  
(工事には資格が必要です。)

天井からの出しろが22mmの配線器具



天井からの出しろが11mmの配線器具



## 2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける。

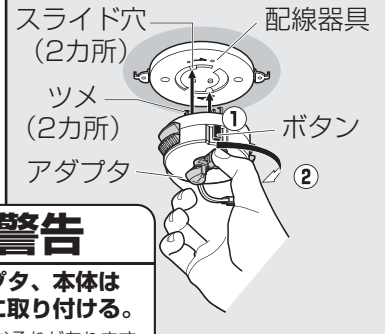
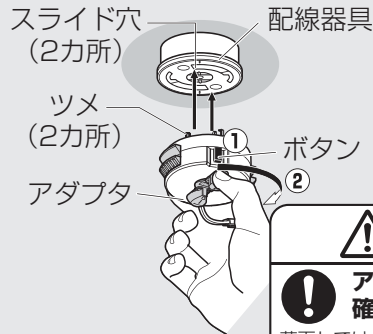
① 位置を合わせる。  
アダプタのツメ(2カ所)を  
配線器具のスライド穴に  
入れる。

② カチツと音がする  
までアダプタを右に  
回して取り付ける。

**確認** ボタンを押さずに左に  
回して外れないことを確認する。

### 警告

❗ **アダプタは必ず付属の  
アダプタを使用  
してください。**  
付属のアダプタ以外を  
使用した場合、本体が  
外れなくなる場合が  
あります。



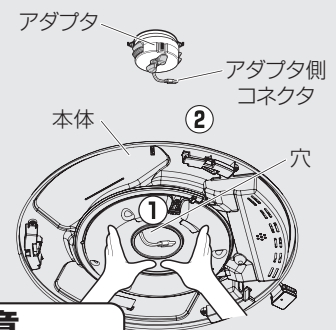
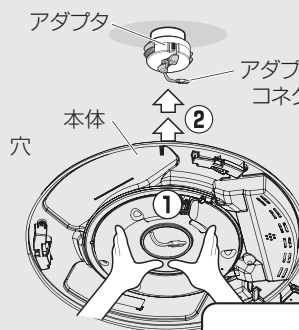
### 警告

❗ **アダプタ、本体は  
確実に取り付ける。**  
落下してけがのおそれがあります。

## 3 本体を取り付ける。

- ① 本体の穴にアダプタ側  
コネクタを通す。
- ② アダプタに本体の穴を合わせて  
穴のまわりを押し上げる。
- ③ アダプタのツメ(白)が  
見えることを確認する。
- ④ アダプタのハンドルを  
ロックする。

※配線器具により本体の取付位置が異なります。  
下記を参考に押し上げてください。



### 注意

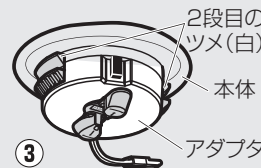
❗ 本体の穴のまわりを押しあげる。

カチツ  
カチツと2度、音がするまで押し上げる。



#### アダプタの本体取付位置

アダプタ2段目の  
ツメ(白)が両方見える。

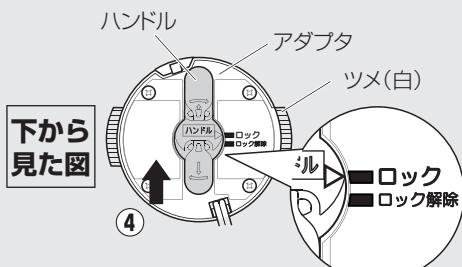
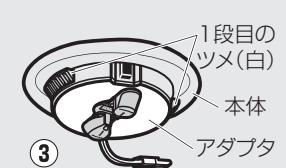


カチツと1度、音がするまで押し上げる。



#### アダプタの本体取付位置

アダプタ1段目の  
ツメ(白)が両方見える。

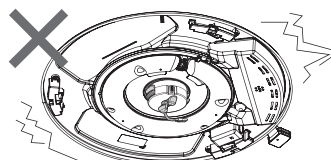


ハンドルをスライドさせて  
▲印をロックの位置に合わせる。

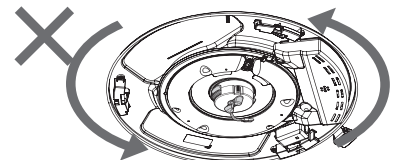
## 4 本体が正しく取付けられているか確認する。

### 確認

右図の場合、正しく取付け  
されていないので手順 ④ を  
再度行なってください。



本体がグラグラする

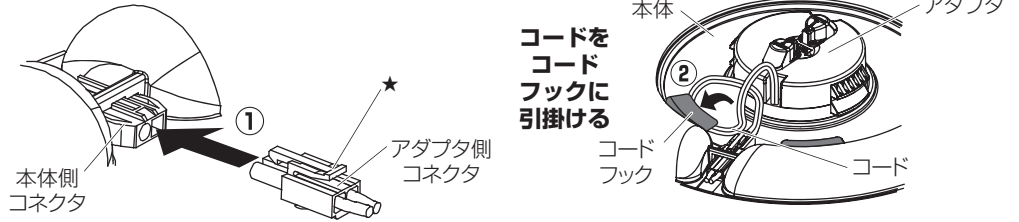


本体が簡単に回転する

(次ページにつづく)

## 5 コネクタを接続する。

- ① アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込む。
- ② アダプタのコードを本体のコードフックに引掛ける。



**確認**

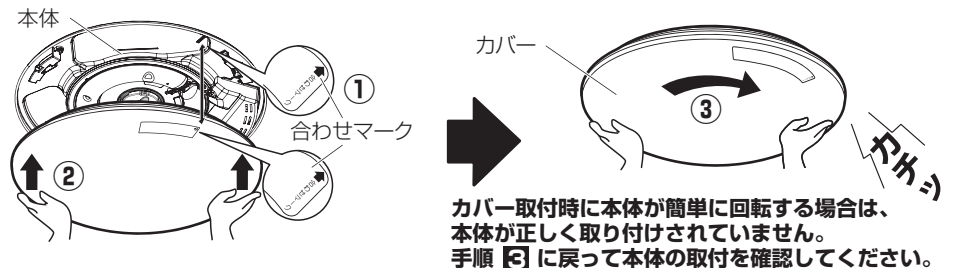
★の部分を押さえずに引っ張って、アダプタ側のコネクタが抜けないことを確認してください。

**警告**

コネクタ接続後は、本体を無理に回転させないでください。器具や配線器具の落下、破損の原因になります。

## 6 カバーを取付ける。

- ① 本体とカバーの合わせマークを合わせる。
- ② カバーを持ち上げる。
- ③ カチッと音がするまでカバーを右に回す。

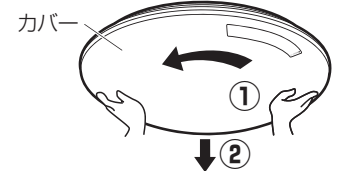


**確認**

カバーが確実に取付けされていることを確認してください。

**取り外しかた**

- ① カバーを左に回す。
- ② カバーを外す。

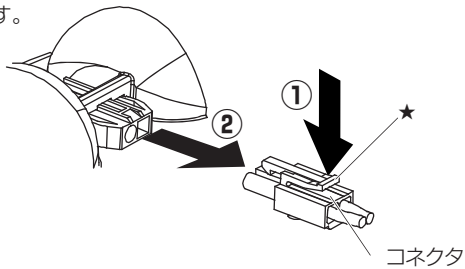


## 照明器具を取り外す

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。

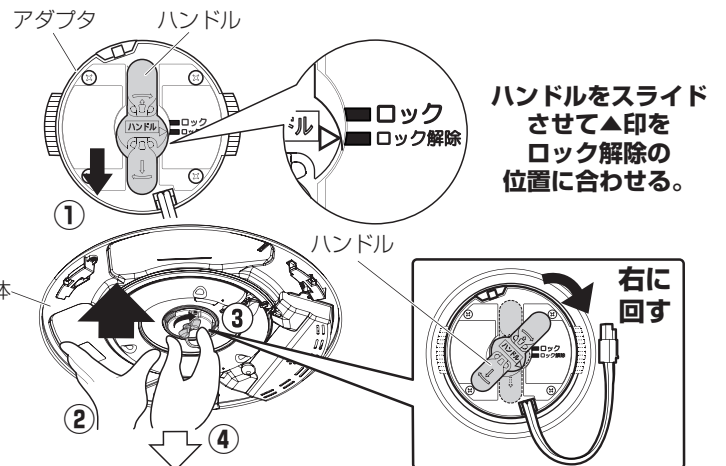
### 1 コネクタを外す。

- ① コネクタの★の部分を押さえながら
- ② 取り外す。



### 2 本体を取り外す。

- ① アダプタのロックを解除する。
- ② 本体が落ちないようにしっかりと支えながら
- ③ ハンドルを右に回す。
- ④ 本体をゆっくりと下げて取り外す。



### 3 アダプタを外す。

- ① ボタン（黒）を押しながら
- ② 左に回して外す。



**警告**

本体が落ちないようにしっかりと支える。落下してけがのおそれがあります。

## 壁スイッチで照明器具を操作する

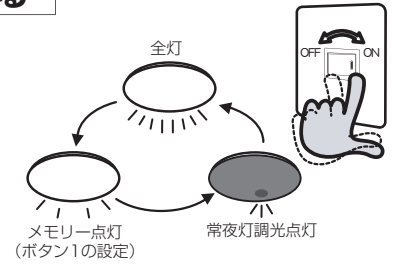
### 点灯・消灯する



- ただし、リモコンで「明るさと色あい」を調節した状態で消灯した場合、現在の状態は記憶しません。そのため、次にONしたときは、最後にメモリーボタン1に記憶した「明るさと色あい」で点灯します。
- 消灯状態で「切」にすると次に「入」にしたときも消灯状態になります。

### 点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く  
(約3秒以内に)  
OFF⇔ONと  
切り替えると次の順に  
点灯状態が切替ります。

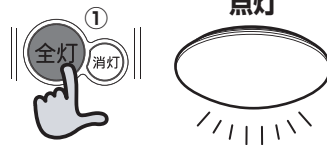


- 初期設定はメモリーボタン1、ボタン2共に（明るさ：100% 色あい：昼白色5000K）の状態記憶されています。
- 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

## 点灯状態を調節し記憶させる

LED点灯中に調光・調色操作を行ない、メモリー点灯ボタンを長押しすることにより、その明るさ、色あいを記憶することができます。

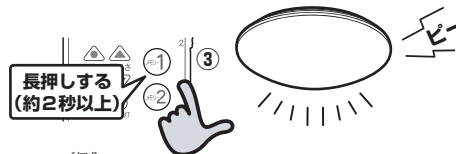
- ① リモコンの「全灯ボタン」を押してLEDを点灯させる。



- ② リモコンの「調光ボタン」「調色ボタン」を押しておこのみのLEDの明るさと色あいに調節する。



- ③ リモコンの「メモリー1ボタン」または「メモリー2ボタン」を長押しして明るさと色あいを記憶する。



(例)  
メモリー1ボタンは電球色に記憶  
メモリー2ボタンは昼光色に記憶

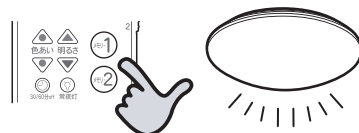
### 「ピー」とブザーが鳴り 明るさと色あいを記憶

- 再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさと色あいを保持します。

## 記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯させる

記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯することができ、「お気に入りの点灯状態」としてご利用できます。

リモコンの「メモリー1ボタン」または「メモリー2ボタン」を押してLEDを点灯させる。



### 記憶した 明るさと色あいで 点灯

- 初期設定はボタン1、ボタン2共に（明るさ：100% 色あい：昼白色5000K）の状態記憶されています。

# リモコンで照明器具を操作する

壁スイッチは「入」の状態にしてください。

## リモコンのボタンについて

※リモコンなどの付属部品は1年保証です。(乾電池を除く)

### 全灯ボタン

100%の明るさで点灯します。(色あい：昼白色)  
●蓄光ボタンが太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。  
ボタンを長押し(3秒以上)で操作する照明器具のチャンネルを切り替える場合に使用します。  
⇒(8ページの2台までのリモコン照明器具を操作するを参照)

### 調光ボタン

明るさを調節します。  
調光範囲：100%～約10%まで

### 調色ボタン

色あいを調色します。  
調色範囲：昼光色6700K～電球色3000K※まで

### offタイマーボタン

offタイマーをセットすると30分または60分後に自動消灯を行います。

タイマー設定後、offタイマーボタン以外のボタンを押すと「ピー」とブザー音が鳴ってタイマーは解除されます。必要な場合は、改めてタイマー設定をおこなってください。

#### 押すごとに下記の動作を繰り返します

60分後消灯  
(「ピッピッ」と音がする)

30分後消灯  
(「ピッピッ」と音がする)

### 消灯ボタン

消灯します。

消灯ボタン操作	点灯状態
1回押す	すぐに消灯
2回続けて押す	約30秒後に消灯

### チャンネル切替スイッチ

操作する照明器具のチャンネルを設定する場合に使用します。  
⇒(8ページの2台までのリモコン照明器具を操作するを参照)

### メモリー点灯ボタン1

### メモリー点灯ボタン2

メモリー設定操作をした「明るさと色あい」で点灯します。  
ボタンを長押し(2秒以上)で点灯状態を記憶します。  
⇒初期設定 ボタン1、ボタン2共に  
(明るさ：100% 色あい：昼白色5000K※)  
⇒(6ページの点灯状態を調光・調色し記憶させる、記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯させるを参照)

### 常夜灯ボタン

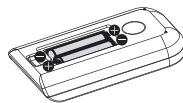
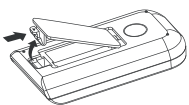
常夜灯を点灯、ボタンを押すたびに明るさを調節します。  
●常夜灯は調色できません。  
調光範囲：明暗上下5段階⇒初期設定：最大の明るさ(5段階)

※K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

## 乾電池の入れかた

- 裏側のカバーをはずす。
- 電池の $\oplus$  $\ominus$ を正しく入れる。

レバーの▲の方向に押し引き上げる



- カバーを取り付ける。

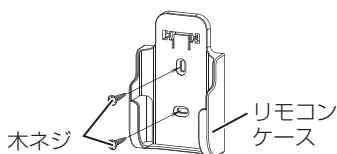
電池は $\ominus$ 側接点をリモコンのバネに正しく押し当てながら装填してください。



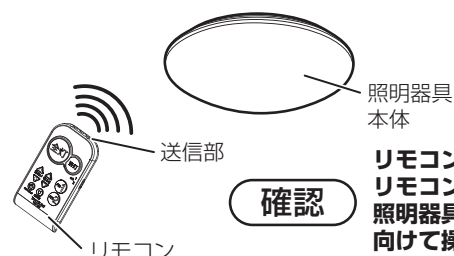
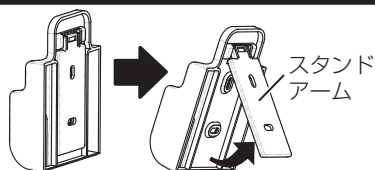
- 使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
- 電池を入れるとき、電池に傷を付けたり、カバーを破らないようにしてください。発熱、破裂、発煙、発火の恐れがあります。
- 交換時は、2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
- 長期間使わないときは、電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)
- リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。

## リモコンケースの使いかた

### 壁などに取付ける場合



### テーブルなどに置いて使用する場合



照明器具  
本体

確認

リモコンを操作する場合は  
リモコンケースから取り出し  
照明器具本体に送信部を  
向けて操作してください。

# リモコンの便利な使いかた

## 2台までのリモコン照明器具を操作する

照明器具のチャンネルを変更できます

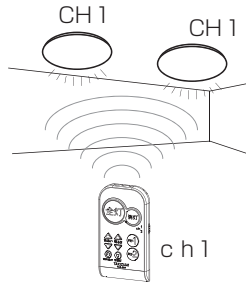
### チャンネル設定で できること

リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の本体が操作できます。

また、リモコンで操作できない時は、チャンネル設定が合っていない場合があります。

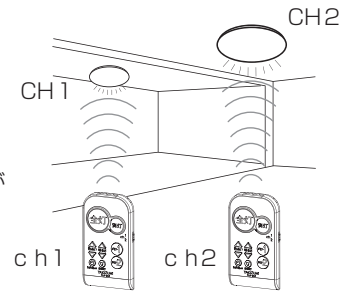
### ●複数の器具を同時に 点灯できます。

(例)  
部屋に2台の  
リモコン  
照明器具が  
ある場合



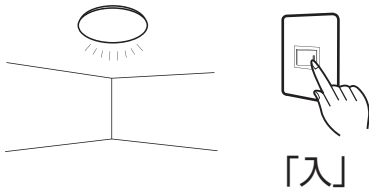
### ●近くの器具を別々に 点灯できます。

(例)  
隣室にも  
リモコン  
照明器具が  
ある場合



## チャンネルの設定方法

●チャンネルの初期設定は照明器具本体、リモコン共にch1に設定されています。



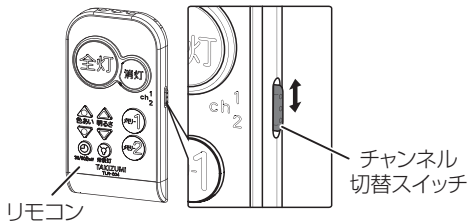
### 照明器具本体をch2に設定する場合

- ① チャンネル設定 **ch2** に設定したい器具 (1台) のみを壁スイッチONにする。

### 照明器具本体をch1に設定する場合

- ① チャンネル設定 **ch1** に設定したい器具 (1台) のみを壁スイッチONにする。

チャンネル設定を切り替えたい照明器具本体以外も反応して、同時に設定されてしまう場合は壁スイッチOFFにしてから対象器具以外のコネクタを取り外してからチャンネル設定をしてください。



- ② リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置にする。

- ② リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置にする。

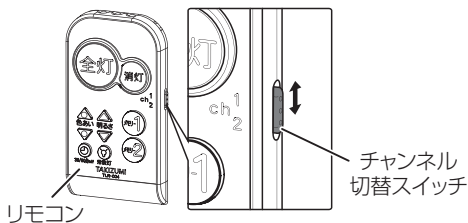


- ③ 照明器具本体にリモコンを向けながら「全灯ボタン」を約3秒以上、長押しする。

(「ピーピーピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch1** → **ch2** へ切り替わります。)

- ③ 照明器具本体にリモコンを向けながら「全灯ボタン」を約3秒以上、長押しする。

(「ピーピーピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch2** → **ch1** へ切り替わります。)



- ④ リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置に切り替えて使用してください。

(照明器具本体のチャンネル設定が **ch2** に切り替わっているためリモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。)

- ④ リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置に切り替えて使用してください。

(照明器具本体のチャンネル設定が **ch1** に切り替わっているためリモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。)

リモコンは、他のタキズミ製リモコン付照明器具に対しても操作できますが、チャンネルの設定の方法はその商品の取扱説明書をご参照ください。また、機種によってはリモコンで操作できる機能が制限される場合があります。



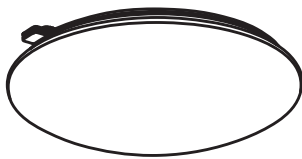
# 対応アプリでのご利用 に関して

## 使用前の準備

本製品を対応アプリで操作するには Wi-Fi 環境と端末（スマートフォン・タブレット等）が必要です。

※本製品には Wi-Fi ルーター・端末は付属していませんので別途ご準備ください。

（モバイルWi-Fiルーター、WEP方式、5GHz帯、一部機種Wi-Fiルーターはご使用いただけない場合があります。）



本製品



インターネット  
環境



Wi-Fi  
ルーター



スマートフォ・タブレット等の  
端末

別途ご準備ください。

## アプリのダウンロード

別紙に記載のQRコードまたはURLから対応アプリをダウンロードしてください。

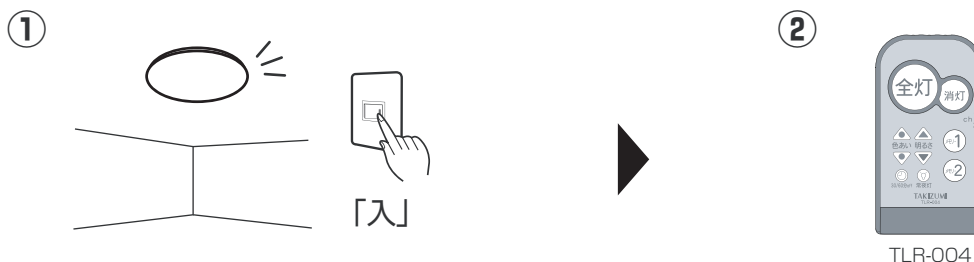
※アプリのご使用方法、ペアリングの方法については、Web上のアプリ使用マニュアルをご参照ください。

# リモコンを使って工場出荷状態に戻す

器具の設定を初めからやり直す場合や、器具自体の使用をやめる場合などは器具に付属している赤外線リモコンを使用して器具本体の初期化を行ってください。

## 1 工場出荷状態に戻す準備をする

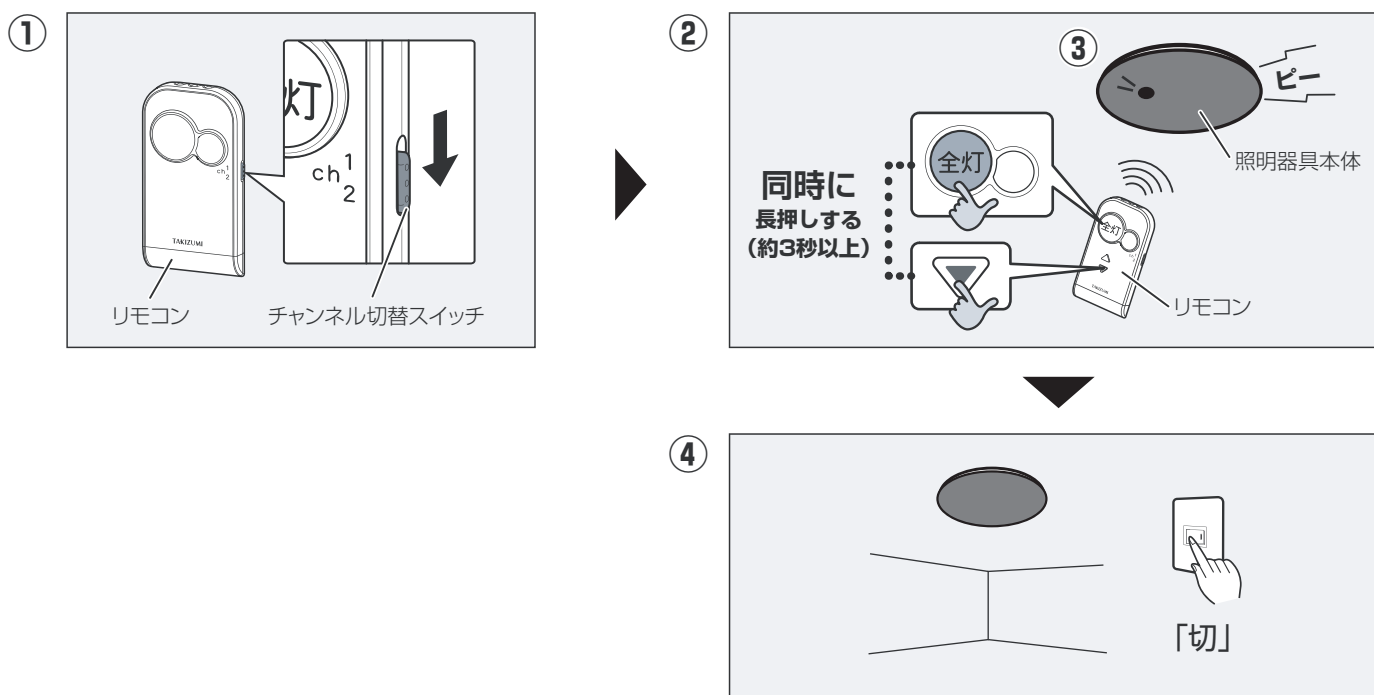
- ① 器具が設置されている部屋の壁スイッチをONにする。
- ② 器具に付属している赤外線リモコンを用意する。



## 2 工場出荷状態に戻す

- ① 赤外線リモコンのチャンネル切替スイッチを「ch 2」にする。
- ② 照明器具本体に赤外線リモコンを向けながら、「全灯ボタン」と「調光▼ボタン」を同時に約3秒以上長押しする。
- ③ 器具より「ピー」という音が鳴り常夜灯の点灯を確認すれば完了です。
- ④ 壁スイッチを「OFF」にしてください。

器具を工場出荷状態に戻すとそれまで器具と接続されていた端末からも器具の情報が消去されます。器具を第三者に譲渡または使用させる場合は必ず工場出荷状態に戻す作業を行ってください。



上記の作業は壁スイッチ投入後5分以内に完了してください。  
作業の制限時間を超えた場合は再度壁スイッチをOFF→ONにして初めから作業をやり直してください。

現象	考えられる原因	参照ページ
点灯しない。	壁スイッチがOFFになっている。	➡ 壁スイッチをONにしてください。 ⇒6ページ
	器具のコネクタが確実に差し込まれていない。	➡ 器具のコネクタを確実に接続してください。 ⇒5ページ
消灯しない。	消灯ボタンを2回続けて押して操作している。	➡ リモコンの消灯ボタンを2回続けて押すと一瞬暗くなった後、約30秒後に消灯します。 ⇒7ページ
リモコンで操作できない。	電池が正しく入っていない。	➡ 電池を正しく入れてください。 ⇒7ページ
	電池が消耗している。	➡ 電池を交換してください。 ⇒7ページ
	リモコンと器具のチャンネルが合っていない。	➡ リモコンと器具のチャンネルを合わせてください。 ⇒8ページ
勝手に点灯、消灯する。	o f f タイマー30分/60分がセットされている。	➡ o f f タイマー30分/60分を解除してください。 ⇒7ページ
	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき点灯状態が切り替わった可能性がある。	➡ 壁スイッチをOFFにしてください。 ⇒6ページ ➡ リモコンまたは壁スイッチ操作してください。 ⇒6、7ページ

上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご使用を中止してください。

## ご使用上に関するお知らせ

## お手入れについて

### 【ご使用上の注意点】

- 点灯中や消灯後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 天井の材質や構造によっては、器具取付天井面が変色する場合があります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。  
長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがないリモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができません。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- 照明器具が点灯しない場合は、ただちに電源を切り、ご使用を中止してください。

### 【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像通信機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

### 【本紙記載内容について】

※本紙に記載される会社名及びロゴ、製品名は各社の商標または登録商標です。  
なお、本文中および図中では「™」、「®」マークは明記しておりません。

### 電源を切って、本体やその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に下記の手順で清掃してください。

本体：石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取る。柔らかい布で拭く。ひどい汚れのときは、よく絞った布で何度も拭き、最後に必ず乾拭きをする。**（水洗いはできません）**

カバー（プラスチックのもの）：石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取る。柔らかい布で拭く。ひどい汚れのときは、よく絞った布で何度も拭き、最後に必ず乾拭きをする。

カバー（木・竹・和紙）：ハタキ・ハケ・柔らかいブラシ等でこまめにホコリを払い落としてください。**（水洗いはできません）**

- 使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。  
※リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。交換時は、2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。  
長期間使わないときは、電池を取り出してください。（液漏れによる故障防止）

- リモコンの送信部は定期的にお手入れを行ってください。  
ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。



確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

## 仕様

使用電圧	周波数	消費電力	入力電流
AC100V	50/60Hz共用	全灯：44.2W 常夜灯：1.3W 待機時：1W以下	0.45A

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります）  
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

## ご利用方法 お問い合わせ

- 対応アプリ上での本製品ご利用方法は以下のサイトをご覧ください。

サポートサイト

URL:<https://srm-solution.zendesk.com/hc/ja>

※ご質問はアプリからお問い合わせください。